

往年の名選手がマメ選手に指導

10月27日 長嶋茂雄ロード記念「少年野球教室」が開催

長嶋茂雄ロード記念「少年野球教室」が、さつきヶ丘公園で開催されました。同教室の開催は4回目を迎え、今年も市内の小中学生約100人が参加しました。この日の講師は、昨年に引き続き巨人軍OB・篠塚和典さんと定岡正二さん。篠塚さんはバッティングと守備、定岡さんはピッチングをそれぞれ指導しました。参加した球児たちは、元プロ野球選手による指導に目を輝かせながら、しっかりと話を聞いていました。



真剣に指導を受ける球児たち

テーマは「ぼく、わたしの夏休み」

10月27日 市子連主催「みんなで遊ぼう!!」が開催

伊豆の国市子ども会連合会主催の貼り絵大会「みんなで遊ぼう!!」が大仁東体育館で開催されました。同大会は市内の子ども会の交流、異学年の交流による子ども会活動の振興などを目的としています。作品は力作ぞろいで、子どもたちの感じる「夏休み」のイメージが伝わるものとなっていました。審査の結果、市長賞には「マスのつかみどりをするひ焼けしたぬえざえもん」(江間っ子クラブ)が選ばれました。



みんなで頑張りました

大切な言葉と音色を胸に刻む

10月4日 大仁中で志龍塾講演会を開催

ピアニストの日吉真澄さんを講師に招き、大仁中で志龍塾講演会「Dear～放課後の音楽室から始まった私の生きる道～」を開催しました。講演会では、高校の音楽室での「転機」の話など、音楽の道を歩む中でのできごとや苦労などが語られ、生徒たちは真剣なまなざしで日吉さんの話に耳を傾けていました。また、話の合間に奏でるピアノの美しい音色を聴き、その世界に引き込まれているようでした。



講演を聴く生徒

はじめての手話

10月11日 長岡北小で手話教室を開催

長岡北小で、4年生を対象に手話教室を開催しました。参加した児童は、聴覚障がいのある講師と緊張しながらも触れ合い、徐々に打ち解けてくると笑顔を見せる場面もありました。また、グループワークでは手話サークルのメンバーも協力。児童は、楽しみながら手話を学びました。手話教室は、ほかにも、葦山小、葦山南小、長岡中でも開催しました。



手話を学ぶ児童



副市長と懇談する吉住さん(左)と三浦さん(右)

姉妹都市との実りある人事交流

10月30日～11月1日 長岡京市職員が人事交流研修

姉妹都市・京都府長岡京市との事業の一環で、今年も職員の人事交流研修を実施しました。今回、長岡京市からは、三浦太士さん(総務課勤務)と吉住麻里さん(開田保育所勤務)が当市を訪れ、2泊3日でそれぞれ総務課、ひまわり保育園などで業務に就きました。2人は、市内施設などの見学、実際の業務、副市長との懇談を通じて交流研修を実施。緊張しながらも明るく業務に従事し、実りのある機会となったようでした。

台風19号への被災に伴い、長岡京市からさまざまな支援をいただきました

台風19号への被災を受け、市が姉妹都市交流を実施している京都府長岡京市から、毛布2,000枚をご支援いただきました。また、11月9日から10日にかけて、姉妹都市交流の一環として実施した長岡京市訪問における友好交流会の会場で、長岡京市友好交流協会および長岡京市議会から支援金をいただきました。いただいた支援金は、市の復興資金として活用します。



毛布2,000枚



支援金を受領する
内山教育長

この場をお借りして、お礼申し上げます。本当にありがとうございました。

食材の「味」を五感で体験

10月18日 葦山南小で「味覚の授業」を実施

葦山南小で、3年生の児童を対象に「味覚の授業」が行われました。講師は、伊豆長岡温泉・古奈別荘の高橋有希料理長です。同授業は、味覚をつかさどる「味蕾」が発達段階にある児童に、五感を使って味わうことの大切さや楽しさを伝えることを目的としています。参加した児童は、食材の塩味・酸味・苦み・甘味・うまみを五感で体験。楽しく味の基本を学びました。



さまざまな「味」を体験

反射炉の操業を物語る遺物が出土

10月20日 葦山反射炉発掘調査現地説明会を開催

市では、「葦山反射炉の保存・整備・活用に関する計画」で定める5カ年の計画に基づき、葦山反射炉の発掘調査を実施しました。この日は、発掘調査現地説明会を開催し、北炉トレンチ、南炉トレンチで過去の保存修理の痕跡を確認したほか、後世の造成土の中から出土した鉄さいやしゃく片を公開しました。訪れた人たちは、市学芸員の説明に、興味深そうに耳を傾けていました。



市学芸員の説明に耳を傾ける参加者